



μ-Ziq(ミュージック)はイングランド・ロンドン出身のMichael Paradinas(1971年生)

によるソロユニット。

μ-Ziqがデュオだった時代

80年代前半にキーボード演奏を開始。当時はThe Human LeagueやHeaven 17のような音楽を聴いていた。80年代中頃になると、いくつかのバンドに所属してキーボードを担当する。その後"Blue Innocence"というグループに参加。1995年、ロンドンでのライブパフォーマンス後に解散。ベース担当だったFrancis Naughtonとともに、以前作った曲を再録音しはじめる。今でこそMike一人のユニットだが、当時はFrancisもμ-Ziqのメンバーだった。Global Communicationの二人([Tom Middleton](#), [Mike Pritchard](#))に認められ、彼らと関わりのあるEvolution Recordsでμ-Ziqの作品がリリースされる予定だったが、責任者の要請により頓挫。そんな中[Rephlex Records](#)を運営する[Richard.D.James](#)が彼らに目を付け、1993年、同レーベルより"Tango 'n Vectif"をリリース。この頃Francisが脱退。

躍出とレーベル設立

1994年には2ndアルバム"Buff Limbo"をリリース。1000部限定プレスだったが、後に再発される。同年後半には大手レーベルVirginの参加にあるHut Recordingsから"The Auteurs vs. μ-Ziq"をリリース。これはThe Auteursの"Now I'm A Cowboy"というアルバムに収録されている曲をリミックスしたもので、これが切っ掛けとなり、Virginから傘下レーベル設立の機会を与えられる。1995年、[Planet Mu](#)レーベルを設立。"in pine Effect"を発売。μ-Ziqとしてのリリースはこのレーベルが中心になっていく。同年Jake Slazenger, Kid Spatula, Tusken Raidersという名義でそれぞれ作品をリリース。これらはいずれもPlanet Muからのリリースではない。

リチャードとのコラボレーションから現在まで

1996年、RephlexよりRichard.D.Jamesと共同で"Expert Knob Twiddlers"を発売。このアルバムジャケットで二人が遊んでいるのは[Downfall](#)というゲーム。翌年"Lunatic Harness"をリリース。このアルバムはしばしばAphex Twinと[Squarepusher](#)の影響、つまりドラムベース的要素が見られる、と評される。1998年、Planet MuレーベルをVirgin傘下から独立させる。また"Brace Yourself"をリリースした。1999年に"Royal Astronomy"とシングル"The Fear"をいずれもVirginグループのレーベルからリリース。2003年以降のリリースは自身のレーベルからのみとなっている。

使用機材/ソフトウェア

- Akai MPC3000
- Casio FZ-1
- Clavia Nord Lead 2
- E-mu ESI-32
- Roland D-50
- Yamaha DX11
- Steinberg Cubase
- Steinberg Cubeat
- Soundcraft Spirit Folio

Sample(Hasty Boom Alert)
